

	2010年2月	2010年3月	2010年4月	最近の経済動向
世界	-G7、景気刺激策継続で一致 -世界同時株安 -若年層(25歳以下)の失業深刻、欧州 21%、日本 8.4% -1月:世界半導体売上高 47%増 -10年:世界パソコン出荷 19.7%増	-NY 原油 86.8 ^{ドル} -2月:世界半導体売上高 56%増	-1-3月:パソコン世界出荷 24%増	・先進国経済は欧州を除き回復傾向。一方、中国、インド、NEIS/ASEAN は力強い回復。その他ブラジルも回復傾向。ロシア、中東諸国等は低迷続く。株価は世界的に回復傾向も上下
日本	-株価:22日一時1万400円台、9日 9,951 円 -物価:1月:1.3%下落 -所得:1月:現金給与総額 0.1%増(20ヶ月ぶり) -消費:1月:消費支出 1.7%増、小売販売 2.6%増 17ヶ月ぶり、新車販売 36.8%増、住宅着工 8.1%減、09年度:新車販売 3.8%増488万台 -受注:1月:機械 16.7%増、工作機 2.9 倍 -生産・出荷:1月:鉱工業 18.2%増、自動車 30.7%増 -貿易:1月:輸出 40.9%増、輸入 8.6%増 -収益:10-12月:経常益:上場企業 2.2 倍、前期比 14%増、営業益:東芝 102 億円、スズキ 35%減 500 億円、最終益:パナソニック 322 億円、三菱電 230 億円、リコー 126 億円、純益:ソニー 7.6 倍 791 億円、シャープ 23%増、4-12月:純益:三菱商 52.3%減、物産 66.7%減、住友 45.2%減、伊藤忠 50.4%減、丸紅 53%減、最終益:オリンパス 430 億円、3月期:経常益:上場企業 12.5%増、製造業 74%増、純益:ホンダ 93%増 2,650 億円、トヨタ 800 億円、日産 350 億円黒、HOYA 39%増、三洋電 500 億円赤、ニコン 170 億円赤 -投資・開発:パナソニック LED 電球生産 4 倍、東芝フラッシュメモリ 8 千億円、ソニー LED 液晶 TV 10 年度 600 万台、GS ユーサ・リチウム電池生産 50%増、10-12 月:設備投資 17.3%減 11 期	-財政:10年度予算 92.3 兆円過去最大 -株価:8日一時1万542円台、30日 1万1,035 円 -物価:1月:消費者 1.2%下落 12ヶ月連続 -雇用:2月:失業率 4.9%、0.2 ポ低下 -所得:2月:勤労者世帯収入 1.3%増(7ヶ月ぶり) -消費:2月:消費支出 0.5%減、小売業販売 4.2%増、新車販売 20.4%増、住宅着工 9.3%減 -受注:2月:機械 26.7%増、工作機 3.2 倍 -生産・出荷:2月:鉱工業 31.3%増、在庫 7.5%減、自動車 74.8%増 -貿易:2月:輸出 45.3%増、輸入 29.5%増 -収益:3月期:営業益:エルピーダ 200 億円黒、純益:三菱電 2 倍 250 億円 -投資・開発:エルピーダ 35 ナノ年内量産、東芝 20 ナノ・フラッシュ量産	-株価:2日一時1万 1300 円台、20日 1万 897 円 -人口:09年10月:1億 2,751 人 0.14%減 -消費:3月:新車販売 23.5%増、フラッシュメモリ品薄 -受注:3月:工作機械 3.6 倍 -収益:資源高・デフレ挟み撃ち -投資・開発:東芝環境対応車向けモーター生産 2 倍、日立リチウム電池寿命 2 倍、11年:トヨタ・リチウム電池ハイブリッド車量産	(前々月)・GDP は輸出主導で回復の兆し、緩やかなデフレ。企業業績 10-12 月期大幅回復。輸出回復基調。設備投資低水準も将来投資盛ん。所得減少、失業率高止まりも個人消費は緩やかな回復傾向。自動車販売は回復傾向。受注、生産も回復傾向。景気回復、雇用確保が最大課題(前・今月) ・GDP は輸出主導で回復傾向、緩やかなデフレ。企業業績 10-12 月期大幅回復。輸出回復傾向。設備投資増加の兆し。所得下げ止まり傾向、失業率高止まりも個人消費は緩やかな回復傾向。自動車販売は回復傾向、住宅低迷。受注、生産も回復傾向。景気回復、デフレ・物価上昇、雇用確保が最大課題
アジア・大洋州	-アジア:5日アジア株全面安 -中国:預金準備率再引上げ、不動産高騰、沿海部人件費高騰、1月:輸出 21%増、輸入 85.5%増、対中直接投資 7.8%増、新車販売 2.2 倍、10-12 月:リノボ純益 72 億円 -香港:10-12 月:GDP 2.6%増 -台湾:10-12 月:GDP 18%増 3 四半期 2 桁増、UMC 純益 27.8%減 43 億台湾 ^{ドル} 、アスス 12.9%減 56 億台湾 ^{ドル} 、TSMC 売上高 42.6%増、1月:輸出 75.8%増、中国向け 2.6 倍、10年:設備投資 48 億 ^{ドル} -韓国:サムスン 2 月 4 ギガ DRAM 量産、1月:輸出 33.7%増、輸入 24%増、新車販売 67.1%増、10-12 月:GDP 前期比 0.2% -ASEAN 5 カ国:10-12 月:GDP 前期比年率 7.6% -タイ:1 月:車販売 54.5%増 5 万台、10-12 月:GDP 5.8%増、 -インド:10-12 月:GDP 5.9%増、1月:鉱工業生産 16.7%増、卸売物価 8.6%上昇、新車販売 50%増、09年度:GDP 7.2% -シンガポール:10 年:GDP 4.5~6%増 -マレーシア:金利 0.25%引上、10-12 月:GDP 4.5%増 4 四半期 + -豪州:10-12 月:GDP 2.7%	-アジア:総合開発計画 650 件 18 兆円 -中国:2月:輸出 45.7%増、輸入 44.7%増、新車販売 46.3%増 121 万台、対中直接投資 1.1%増 7ヶ月 +、物価 2.7%上昇、10年:GDP 9.5%、財政支出 11%増 110 兆円、09年:吉利純益 34.5%増、15 年:吉利車生産 5 倍 150 万台、次期 5 年計画:環境に 40 兆円、スマートグリッド活用電力供給に 50 兆円、高速鉄道 12 年迄 12 兆円 -台湾:2月:輸出 32.6%増、輸入 45.8%増 -韓国:LG ディスプレイ 第 8 世代液晶パネル生産 1,200 億円、2 月:失業率 10% 10 年ぶり高、輸出 31%増、輸入 36.9%増、新車販売前月比 10.8%減、09年:営業利益 2%増 -タイ:2月:自動車生産 2.1 倍 12.8 万台、輸出 23%増、輸入 71%増 -インドネシア:1 月:輸出 59%増 -インド:10-12 月:企業純益 27%増、09年:新車販売 28.1%増 248 万台、2月:鉱工業生産 15.1%増、資本財生産 44.4%増、新車販売 43%増 25 万台、卸売物価 9.8%上昇	-アジア:GDP:アジア 7.5%、中国 9.6%、韓国 5.2%、台湾 4.9%、ネシア 5.5%、タイ 3.5%、インド 8.2% -中国:沿海部最低賃金 21%引上げ、不動産に資金流入、3 月:輸出 24%増、輸入 66%増、新車販売 55.8%増 174 万台、消費者物価 2.4%増、1-3 月:GDP 11.9%増、固定資産投資 26.4%増、小売売上高 17.9%増 -台湾:3月:輸出 50.1%増、受注 44%増 -韓国:サムスン・20 ナノ・フラッシュ量産、1-3 月:プラント受注 5.9 倍、営業利益:サムスン前期比 25%増 3,600 億円、3月:輸出 35.1%増、10年:GDP 5.2%増 -タイ:3月:消費者物価 3.4%増 -ベトナム:1-3 月:消費者物価 8.5%増 -インド:0.25%利上げ年 5.5%へ、3月:新車販売 28.8%増、1-3 月:M&A 76%増、純益:インフォシス 8.7%増 325 億円、TCS 60%増、	(前々月)アジア株上下、中国の GDP 拡大傾向、固定資産投資、消費高水準、輸出回復へ。韓国、台湾は企業業績改善頭打ち、生産、輸出、投資好調、GDP は大幅回復。インド経済拡大へ、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも回復傾向。景気の持続的回復課題(前・今月)アジア株上下、中国の GDP 拡大傾向、固定資産投資、消費高水準、輸出回復へ。韓国、台湾は企業業績改善頭打ち、生産、輸出、投資好調、GDP は比較的高水準。インド経済拡大へ、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも回復傾向。景気の持続的回復課題。インド、ベトナム等でインフレ懸念

北米	<p>-財政・金融: 公定歩合 0.5→0.75%へ -GDP:10-12月:前期比年率 5.6%増 -株価:26日 1万 212^{ドル}、5日 9,800^{ドル} -雇用:1月:失業率 9.7%、0.3^{ポイント}低下 -消費:1月:個人消費前月比 0.5%増、小売売上高 4.7%増、新車販売 6.3%増、住宅着工前月比 2.8%増 -受注:1月:耐久財前月比3%増 -生産:1月:鉱工業 1.4%増、前月比 1.7%増、7ヶ月連続+ -貿易:12月:輸出前月比 3.3%増、輸入同 4.8%増、1月:輸出同 0.3%減、輸入同 0.3%減 -収益:10-12月:GM最終赤字 3,200 億円、11-1月:純益:シスコ 23%増、18.5 億^{ドル}</p>	<p>-景気:FRB 景気回復広がる、民需は力強さ欠く -財政・金融:10年債利回り 4%へ -株価:6日 1万 566^{ドル}雇用悪くない -雇用:2月:失業率 9.7%、横這い -物価:2月:卸売前月比 0.6%減、消費者横這い、 -消費:2月:個人消費前月比 0.3%増、小売売上高 3.9%増、新車販売 13.3%増、住宅着工 0.2%増、前月比 5.9%減、新築住宅前月比 2.2%減 -受注:2月:耐久財前月比 0.5%増 -生産:2月:鉱工業前月比 0.1%増、8ヶ月連続+ -貿易:2月:輸出前月比 0.2%増、輸入 1.7%増 -投資:20年:1億世帯に高速通信網 -収益:12-2月:純益:オラクル 11%減 1,100 億円、18.5 億^{ドル}</p>	<p>-景気:FRB ほぼ全地域で改善 -GDP:1-3月:前期比 2.5~2.9%増 -株価:16日終値 1万 1,140^{ドル} -雇用:3月:失業率 9.7%、横這い -消費:3月:小売売上高 9%増、前月比 1.6%増、卸売上高前月比 0.8%増、新車販売 24.3%増 106万台、住宅着工前月比 1.6%増 -生産:3月:鉱工業前月比 0.1%増、9ヶ月連続+ -収益:1-3月:最終益:上場企業 36%増、純益:IBM 13%増 2,400 億円、GE31%減 1,800 億円、インテル 3.9 倍 24.4 億^{ドル}、アップル 90%増 2,860 億円、J&J29%増 4,210 億円、グーグル 37%増 19.5%増、AMD239億^{ドル}</p>	<p>(前々月)GDP は回復傾向。企業業績 10-12月に急回復、10期目でプラスへ。株価上下、大幅な財政赤字。輸出は増加傾向、投資持ち直し。失業率高水準高止まりも個人消費低水準ながら回復傾向、新車販売回復傾向。受注、生産も回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題 (前・今月) GDPは回復傾向。企業業績1-3月は回復基調。株価上下、大幅な財政赤字。輸出は増加傾向、投資持ち直し。失業率高水準高止まりも個人消費は回復傾向、新車販売回復傾向。受注、生産も緩やかに回復。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-政策:EU キリシヤ支援合意 -株価:5日欧州株全面安、ギリシヤ、ポルトガル不安 -物価:1月:消費者:英 3.5%増、 -雇用:1月:失業率ユーロ 9.9 横這い、独 7.5、仏 10、蘭 4.2 -消費:12月:小売売上高ユーロ 1.6%減、独 2.5%減、仏 1%減、英 0.7%増、ポーランド 4.6%増、1月:小売売上高ユーロ 1.3%減 19ヶ月-、新車販売:ユーロ 15.7%増 8ヶ月連続+、独 4.3%(支援切れ)、英・伊30%増、仏 14.3%増、スペイン 10%増 -受注:1月:製造業:ユーロ 7%増、独 15%増、仏 0.4%減 -生産:ユーロ 1.4%増、独 2.9%増、仏 2.4%増、英 0.2%減 -貿易:1月:ユーロ輸出 5%増、輸入 1%増 -収益:10-12月:純益:ABB2.5 倍 5.4 億^{ドル}、フィリップス 2.6 億ユーロ黒字、エリクソン 92%減、ST マイクロン 7,000 万^{ドル}赤字、12月期:純益 VW 80%減、1,100 億円、ルノー最終損 30.6 億ユーロ、ダイムラー 26.4 億ユーロ赤字、BMW36%減、ボルボ 2.7 億^{ドル}赤字、フィアット 8.5 億ユーロ赤字、アウディー 42%減、EADS7.6 億ユーロ赤字、Q セルス 1,700 億円赤字、アレバ 6.3%減 -投資:10年:ユーロ 0.7%増、独・仏 1.2%、伊 0.7%増、</p>	<p>-政策:欧州 2020 成長戦略発表 -雇用:2月:失業率ユーロ 10%0.1^{ポイント}悪化、独 7.5、仏 10、蘭 4、スペイン 19% -消費:2月:新車販売:ユーロ 5%増、独 30%減(支援切れ)、仏 18%増、英 26%増、伊 21%増、スペイン 47%増、 -受注:2月:製造業:独横這い -生産:2月:鉱工業:独横這い、仏前月比横這い -貿易:2月:独輸出 9.6%増、輸入 4.2%増</p>	<p>-消費:3月:新車販売:独 27%減 -収益:1-3月:最終益:フィリップス 250 億円黒字、ソニーエリクソン 26 億円、営業益:ダイムラー 1,400 億円黒字</p>	<p>(前々月)GDP は独を中心に底打ち傾向。企業業績持ち直し。株価上下。輸出底打ち傾向、投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、個人消費低迷も自動車販売は回復傾向。受注、生産は底打ちの兆し。景気回復、雇用確保が課題 (前・今月) GDPは独を中心に底打ち傾向。企業業績持ち直し。株価上下。輸出回復傾向、投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、個人消費低迷も自動車販売は回復傾向。受注、生産は底打ちの兆し。景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア	-	-トルコ:韓国、原発で共同研究	- アフリカ :中国、インド、ブラジル資源争奪	・ 主要国経済成長マイナス。一方、太陽光、原子力、石化プロジェクト活性化。ドバイショックの影響、イラク・アフガン情勢、景気低迷が懸念材料
中南米	- ブラジル :10-12月:GDP 前期比 2%増、1月:新車販売 7.9%増	- ブラジル :金利据置年 8.75%、道路・インフラ整備49兆円、2月:新車販売 10.8%増 23万台	- ブラジル :株価上昇、3月:新車販売 30.3%増 34万台	・ ブラジルは消費・投資中心に回復傾向。メキシコ、ベネズエラ、チリは成長横這い。景気回復が課題。
露東欧	- ロシア :1月:新車販売 37%減 7.4万台	- ロシア :インドと原発協力拡大、金利 0.25%引下げ年 8.25%へ過去最低、2月:新車販売 32%減 9.1万台	- ロシア :3月:新車販売 7%減 12万台	・ ロシアは石油価格の回復等で経済底打ちの兆し。消費、投資弱い。景気回復が課題。